～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

農 学部・研究科 **海洋生物環境** 学科・課程・専攻 **1**年 （**黒木省吾**）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間： 2012 年 8 月 8 日 ～ 2012 年 8 月 31 日

〇渡航時の学年： 1 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

以前から海外に出たいと思っていた。そこで、英語の講義中に講師から紹介があった。
ついで、費用も一ヶ月分なのでだいぶ安かったため。

・渡航に関する手続について：

国際連携センターに個人で申し出て、必要な書類を書く
パスポートを宮崎県庁で購入
飛行機の便の予約
海外保険料の支払い

・査証取得：

なし

★体験記：

〇生活費：

渡航費(航空 200,000)・食費(昼食:$ 5～8 × 20)・授業料(180,000)の合計が日本円で約 60 万円
平日の昼食は一階のカフェでパンが 3～6 $/個 （日本円で 200～400 円）
飲み物については日本のようにペットボトルの品は多くはなく、自販機がほとんどないことに注意。
2～5 $/本

〇ホームステイ先の環境：

一階建てであるが、空間が広々としていて、自分の部屋を用意してもらえ、机・やハンガーなども
用意してもらえた。家族状況はホストファザーとマザーと自分の三人。他の留学生はいなかった。
食事もおいしく、ラム(羊)や魚を出してもらえた。

〇大学のサポート状況：

事務室に一人、日本語がわかる女性がいたので、初日は日本語である程度尋ねた。

〇授業の様子：

日本の並列の席とは異なり、グループごとのように 3・4 人ずつ座る。
Reading ・ Grammar などを二コマ行い、その後 TOEIC と I ELTS(現地の TOEIC のようなもの)に
分かれる。時間はすべて 90 分。
グループで話し合いをしながら、答えを考えていくことが多いので積極的に発言すること。

〇他の留学生たちの様子:
他国からは主に東南アジア(中国・韓国・台湾・タイ・ラオスなど)と、サウジアラビアの人々が多かった。全体的には中国 3 割、サウジ 3 割、日本 2 割、その他 2 割。
皆接しやすく、放課後に遊んだりもした。サウジアラビアの人は特にフレンドリーだった。

〇現地学生との交流:
交流はなかったが、屋外行動の時に自分たちの立場を理解してくれ、手伝ってもらえた。

〇街の様子:
街の様子はスコットランド様式で、交通手段では学生は基本バスで行う。バスの仕組みも日本と違うので注意。買い物は徒歩 8～10 分ほどに「Octagon」という中心街がある。
コンビニはほとんどない。歩道はかなり大きめに確保されているが、道路の横断は横断歩道以外ではかなり危険。横断歩道を渡ろうとすると車は確実に譲ってくれる。

〇その他:
DUD はペンギン、アザラシなどを至近距離で見られるツアーがあるので都合が良ければ参加して欲しい。その他には、ギネス記録に載る急な坂道 Baldwin street や、市街が一望できる Signal hill があるので、是非訪れて欲しい。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
・自分は冬季に訪れたが、日本と違い、冬も時折豪雨となる。また、日本のように斜面を削り、家を建てるのではなく、斜面に家を建てるので、坂道の多くは急勾配。そのため山地から平地にかけ強風が吹くので、レインコートを 1・2 着必要。傘は無いほうが安全。

・自分の留学の目的は、小・中・高校と学んできた言葉を実際に「使う」ことがしたかったため。日常英語で必要なのは、自分の意見をつたなくても 1 秒以内に英語で述べること。黙っていると相手にされず、あまりに発言が遅いと「わからないのだな」と勘違いされ、話を変えられた。そのため渡航前から自分のフレーズを作るのもアリだと思う。たとえば**「この料理、めっちゃ美味しい!!」**を日常会話的に言うと、**This is very very good** ！ こんな表現でも十分に伝わる。無理に堅苦しい表現をすると相手が理解してくれない。とにかく頭を柔軟にして会話して欲しい。渡航するに当たって、大学受験の文法書より日常会話が載っている本が一冊あれば十分。なくても OK。
電子辞書は必要！

・NZ では**「egg ・camera ・I can ～～～」**の発音は**「イッグ・カムラ・アイ カン buraburabura」**のように言われるので、事前に調べておくこと。自分は本当に苦労しました。

・リスニング力を上げる秘訣は、**とにかく相手と会話をする**こと。会話をすれば自然と伸びてくる。

・最後に、現地ではとにかく**「英語で」**会話をしてください。授業中にわからなくなっても、
”Excuse me, I can’t understand it !”と言えば、わかるように言ってもらえます。初めはうまく話せないにしても、日本人の基礎知識量は他国よりも多いので焦ることはないと思います。
尋ねるだけでも英語を使うので、**知ったかぶりは伸びません。**

※face book は必須です !!! （帰国後に海外の友達との交流の手段となる）

国籍なんて関係ねぇよ！！　友達は作ったもん勝ち！

←

一番の友人!!　と、パシャリ。

ＩＥＬＴＳでクラスが一緒のタイ人。

スキー旅行で仲良くなって、毎日話している！

→

バスケ仲間の一番友達!!
週三回、放課後に他の中国人達 10 人くらいと 3~4 時間くらい・・・。

←
向かって右が中国人！左が日本人！！
日本の他の大学からもたくさん来ます！
我ら、UCS！(Upper-intermediate Class Student)

以下はツアーで撮った写真です！！
野生の姿を生で見られます！！
↓

Where there's a will, there's a way.